

「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト活動報告

活動日 2022 年 11 月 6 日～2022 年 11 月 6 日

活動名	第 23 回湘南国際村めぐりの森植樹祭	
活動団体名	非営利型一般社団法人 Silva (シルワ)	
活動目的	バブル期に開発された水源林であった湘南国際村めぐりの森の植生を復元する為、潜在自然植生種を用いた混植・密植方式による土地本来の森を再生する目的。土地本来の森は、生長の過程で気温を上げる二酸化炭素と太陽エネルギーを吸収し、気温を下げる酸素を供給してくれる為、地球温暖化の直接的な対策となる上に防災林としても機能し、異常気象による地滑り・土砂崩れなどの被害の拡大を減らす。その理由より、SDG s 目標へ貢献することで森里川海プロジェクトへ協働する取り組みを目的とする。	
活動内容	2019 年より 14 年間、目的記載の植樹を推進。11 月 6 日日曜日開催の第 23 回湘南国際村めぐりの森植樹祭では、169 名で 1,000 本を植樹。累計植樹本数は、70,802 本となり、2 ヘクタールが環境保全林の再生地として、緑化された。当法人は、グループ長として、植生調査から植樹祭までの全体をコンサルし、事業費の 3 分の 2 を助成金や寄付などで獲得し、本事業の持続力をサポート。その上で毎木調査・土壌動物調査を実施し、緑化の効果の可視化に務める。	
活動写真		
写真説明	2022 年 11 月 6 日植樹祭 集合写真	片付け後の植樹地の様子(Silva メンバー)
活動効果	当該事業は、官民連携で発足しており、神奈川県のコア事業と位置付けられる。関係者は、50 団体を超え、三浦半島の中心に位置することから、水源林として水質浄化による地元約 3,000 世帯への恩恵へも期待される。また、植樹祭へ来場された法人や個人から学校環境保全林の再生事業などへ派生しており、森の再生方法の広告塔となっている。毎木調査の解析では、14 年間の二酸化炭素固定量 3.76 トン。	
今後の展望	環境省が推進される『30by30』に於ける自然共生サイト(仮称)の認証を得るべく、2020 年より、当法人が所属する協働参加型湘南国際村めぐりの森づくり推進会議で協議中。窓口となる神奈川県地域政策課でも実現の為、課題のクリアを検討中。	